

Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属： 国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ；

創立： 1985 年 3 月 27 日； RI 認証： 1985 年 6 月 3 日(No. 1665)；

事務所： 〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F；

電話： 059-383-7077； FAX： 059-383-8501；

E-Mail： info@rotary-suzuka-west.org； <http://www.rotary-suzuka-west.org/>

例会場： 鈴鹿商工会議所 4F 大ホール； 例会日： 火曜日； 例会食事： 12: 00； 例会： 12: 30-13: 30；



第 1614 回例会 2019 年 8 月 31 日(土)

鈴鹿・亀山グループガバナー公式訪問合

同例会・インターシティミーティング

例会場： コンフェット鈴鹿平安閣

例会進行： 鈴鹿ベイ R C SAA 川岸憲博

開始： 14: 00 終了： 17: 20

点鐘： ガバナー補佐 宮崎弘夫

ソング： 君が代 奉仕の理想

ソングリーダー： 鈴鹿ベイ R C 森田英治

ゲスト： 第 2800 地区 PG 鈴木一作 様

(寒河江 R C)

特別参加者：

19～20 年度 ガバナー 辻 正敏

ガバナー・エレクト 劔田廣喜

ガバナー・ミニ 浦田幸一

17～18 年度 ガバナー 田山雅敏

15～16 年度 ガバナー 岡田信春

13～14 年度 ガバナー 加賀 修

濃飛グループガバナー補佐 清水幸平

四日市グループガバナー補佐 九鬼紋七

中勢・伊賀グループガバナー補佐 松田英明

松阪・東紀州グループガバナー補佐 太田正隆

鈴鹿・亀山グループガバナー補佐 宮崎弘夫

職業奉仕委員会 委員長 山本和彦

奉仕プロジェクト外部 委員長 篠原一行

社会奉仕委員会 委員長 河野 等

国際奉仕委員会 委員長 西田重好

地区大会実行委員長 西村昭彦

幹事 小寺徹也

幹事 山岡幹也

職業奉仕委員会 委員 小林 充

公共イメージ委員会 委員 森 通人

会員増強委員会 副委員長 中村 薫

米山記念奨学委員会 副委員長 佐野 寿

米山記念奨学委員会 委員 伊藤晃宏

【ご挨拶】

2019-2020 年度

国際ロータリー第 2630 地区

ガバナー 辻 正敏様

(津 R C)



改元という新しい時代の幕開けから、早くも 5 ヶ月その間 7 月からは、ロータリーも新たな気持ちで 2019-2020 年度をスタート致しました。一昨年の「変化をもたらす」、昨年の「インスピレーションになろう」から RI

会長のマローニーさんは「ロータリーは世界をつな

ぐ」としました。昨年のビジョン声明を受けて、いろいろな方たちと手を繋ぎながら行動しようと言っています。青少年に向ける目も、今まで以上に暖かく大切に育てようとしています。会員増強でも若い人の増強が叫ばれています。より自由に。より伸び伸びと活動できるように自分たちのクラブを変化させていきましょう。

今年度の地区のテーマを「総天然色」としました。ビジョン声明をしっかり踏まえた地区内 75 のクラブが、それぞれの地域で、まちで、ロータリアンは勿論、そうでない人々とも手を繋いで積極的に活動しましょう。そしてそれぞれの地域で、まちでいろいろな色の花を咲かせましょう。そして「こんなロータリーがいいな」とみんなで話合いながら、今までよりちょっと楽しいロータリーを作りましょう。一年間よろしくお願いいたします。

・ 2019～2020 年度 5 クラブ合同 会長 ・

幹事 懇談会 於 2 階

12 : 00 ~ 13 : 40 閉会

内容 ガバナー主催と 5 クラブ会長・幹事 昼食付き懇談会

・ 2019～2020 年度 ガバナー公式訪問 5 クラブ合同例会

於 4 階 ルミエール

14 : 00 ~ 開会宣言 ~ 開会点鐘 ~ 国歌・

奉仕の理想 斉唱

歓迎のあいさつ

鈴鹿ベイ R C 谷田義弘会長

国際ロータリー第 263

0 地区 鈴鹿・亀山グル

ープ 2019-2020 年度

ガバナー公式訪問合同例会



インターシティ・ミーティングのホストクラブを務めさせていただき、ありがとうございます。

まずは、ご多用の中、ご来賓の方々をはじめ、多数のご臨席を賜りましたこと、衷心よりお礼申し上げますとともに、心より歓迎申し上げます。

周知のとおり、私たち 5 クラブは、それぞれに伝統や特色を持っております。時にはこの垣根を越えて、力を合わせて活動することがあります。そのためには、互いに理解し、親睦を深め、協力できる体制づくりが必要となります。このたびの合同例会もその一つの場にできればと考えております。辻ガバナーがおっしゃるように、「ちょっと楽しい」機会にしたいものです。

最後に、ご参加いただきました皆様のご健康とますますのご発展をお祈り申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。

出席者の紹介 ガバナー補佐 宮崎弘夫

14 : 20 ~

「ガバナーの講演」

地区ガバナー 辻 正敏様

2019-20 年度国際ロータリー会長のマローニーさんは Rotary Connects The World (ロータリーは世界をつなぐ) がテーマです。

私たち 2630 地区のテーマは「総天然色」。これまた訳の分かったような、わからないような、ガバナーらしいテーマです。

会長のマローニーさんは、今年のサンディエゴでの国際協議会で、前年度の会員減少が過去にない大きなものだったことに触れ、増強や退会防止の大切さを述べられると共に、その方法にも大きく踏み込んで話をされました。最初の強調事項。それはロータリー自身の成長です。

Grow Rotary と表現しました。穴の開いたバケ

ツにいくら水を入れても抜けていくばかり。それが今のロータリーではないかと。そしてロータリーを成長させなければならないと言います。ロータリーというバケツをきちんと修復、あるいは今の時代に合った新しいものに変える必要があります。

会員減少は組織としては大変な問題です。職業分類を強化して会員を増やし、新しいクラブを作らなくてはならない。そして子供たちや若い人たちを大切にしなければいけません。ロータリーのリーダーシップの道をもっと歩きやすくしなければなりません。増強や拡大の前にロータリーの成長が不可欠です。仕事をしながらロータリーが出来なければいけない。家族、仕事、ロータリーのバランスを考えなくてはならないと言っています。Grow Rotaryは単に会員を増やそう、組織を大きくしようと言っているのではなく、きちんと続いていくように（持続性）、成長していきましょうと言っています。公共イメージの向上やロータリーの認知度向上もその一つです。

先ほども触れましたが、子供たちや若い人たちとの結びつき・つながりの大切さです。今年の国際協議会に初めてローターアクトたちが正式に招かれました。世界で60名。日本から3名。私は日本からのローターアクトに質問しました。「どうしてローターアクトに入ったの」。答えは「奉仕がしたかったからです。」と明確に答えました。私は少し驚きました。私は彼らの年代の頃、「奉仕がしたい」と思ったでしょうか。若い彼らと私たちの思いは、どこかで交わるかもしれません。

青少年プログラムはロータリーにとって避けては通れないものです。今触れたローターアクトの他にもインターアクト、青少年交換等があります。いろいろなハラスメントや最近多く発生する災害時

対応など様々な問題も起こっているようです。しかし私たちは諸問題を真正面で受け止め、諸問題への認識を深め、対応力を十分持って取り組まなければなりません。

ちょっと難しい話になりますが、ロータリーの定義といってもよいとされていますロータリーの中核的価値観というものがあります。奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップの5つです。これが2018年、昨年の国際協議会で「ビジョン声明」として出されました。「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」という声明です。それを受けて、目的を達成するための戦略計画があります。「より大きなインパクト」、「参加者の基盤拡張」、「参加者の積極的なかわり」、そして「適応力を高める」です。

2017-18年度 Make a Difference（変化をもたらす）、2018-19年度 Be The Inspiration（インスピレーションになろう）、そして本年度2019-20年度は「ロータリーは世界をつなぐ」です。

「変化とは何？」と考えました。「あっ、こんなのはどうだろう」と思い付きがありました。そうしたら「そのような思いや考えを持った人が手を取り合っていきましょう」と考えたら、本年度は今まで考えてきたことを思い切ってみんなで動かしてみようという年になるわけです。2019-20年度のミッションは、「人びとが手を取り合って行動しよう」です。ロータリーは難しい表現が好きですね。簡単に言えば、この2017-18年度からのテーマ、これが戦略計画だと考えても良いのではないのでしょうか。

では具体的にはどうしましょうか。「人々が手を

取り合う」ために、まずクラブや地区のリーダーが率先して積極的に参加する。会員の維持と新しい会員の増強。出来ればローターアクトや40歳未満の若い会員、女性会員の増強。新しいクラブを作るのもいいでしょう。それとロータリーと関わっている若い人たち、インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員間の積極的な参加・協力、JCや商工会議所青年部との交流などもいいですね。

「行動する」とは、例えばポリオ。ポリオ根絶活動（表現が根絶になったことの説明）でのロータリーが果たしている役割をはじめとしてロータリーが取り組んでいることを伝える。R財団補助金を活用してのプロジェクトを増やすと共にR財団への年次基金、ポリオプラス、恒久基金への寄付の増進。

「世界を変える行動人」キャンペーンの促進などでしょうか。

今年4月、2019年規定審議会でメーキャップの話がありました。今まで例会の前後14日間だったメーキャップを、そのロータリー年度内にすればよいということです。「えっ、出席率はどうするの」、「月信にはどう記載するの」、「出席委員会はいらないの」等々物議を醸しています。年度内のメーキャップは最大期間で、今まで通りでよければそれぞれのクラブ細則で決める。例会の前後14日でも30日でも構わないわけで、あくまでクラブが決めれば良い訳です。

どんな変化が訪れても中核的価値観やビジョン声明を忘れなければロータリーは変わりません。より皆さんが居心地の良いロータリーにするためにロータリーを成長させるのです。それには家族や若い人たちとのつながりを大切にして会員の基盤を強化しましょう。もう少しのところまで来ているポリオ根絶に立ち上がりましょう。R財団が初めて寄

付をしたのは1930年国際障害児協会への500ドルです。もっと言えばポリオに感染した子供たちをサポートする協会でした。ロータリーのポリオとの戦いは90年に及ぶと言っても良いでしょう。R財団の資金を活用して良い変化をもたらすための事業を行いましょう。そして寄付もしましょう。

いよいよクラブがロータリーの理念に基づき、自由に主導権を持ってロータリー活動をする時が来たようです。みなさんの家族が、事業所が、そしてクラブが生き活きとロータリーを楽しまれ、この地区にあるロータリークラブの数だけ素敵な花を咲かせ、総天然色の2630地区を作りましょう。

14:50 閉会

・インターシティミーティング

4階 ルミエール

15:00 ~ 講師紹介 宮崎弘夫 ガバナー補佐

15:15 ~ 基調講演

「ロータリアン、その重みと喜び」

講師;第2800地区 PDG 鈴木一作 様



*** 講演資料をPDFにて別添**

16 : 20～ 卓話 5クラブ会長 基調講演への

5 分間感想卓話

- ①鈴鹿 R.C. 尾市 亥佐生会長
- ②鈴鹿西 R.C. 服部 高宣会長
- ③亀山 R.C. 赤塚 英則会長
- ④鈴鹿シティ R.C. 岡村 信之会長
- ⑤鈴鹿ベイ R.C. 谷田 義弘会長

16 : 50～ 総評 パストガバナー 加賀 修

17 : 00～ 次期主幹クラブ発表

ガバナー補佐 宮崎 弘夫

次期主幹クラブ会長挨拶

17 : 15～ 閉会の挨拶

鈴鹿ベイ RC I M実行委員長 中村 悟

17 : 20～ 閉会の点鐘

ガバナー補佐 宮崎 弘夫

以上

会報発行担当： 久志本敦史